

神奈川県

支援事業に参加した成果（研修後のアンケート、関係機関との意見交換を通して）

- 広域アドバイザーの経験豊かな実践に基づく講義やグループワークを通して、顔の見える多機関連携による個別支援への取組み、多職種協働による支援の重要性、有効性等の理解の深まり。
- 医療機関、相談支援事業所等関係者をはじめとする支援者自身の地域移行に向けた士気の高まり。

支援事業での取組

（研修会の開催）講師：金川広域AD

- ◎平成29年8月24日（市町村、保健福祉事務所関係職員を対象とした会議を活用）
「医療と福祉の連携～地域移行コーディネーターの実践から～」研修参加40名
（※平成29年5月31日（第2回県西圏域・地域移行のための医療と福祉の連携会議）概要説明）
- ◎平成29年9月27日（第3回県西圏域・地域移行のための医療と福祉の連携会議）研修参加48名
「実効性のある地域移行・地域定着支援を推進するために」～地域移行支援給付のプロセスとポイント 実行する地域移行～

（現地支援）曾我病院・県障害福祉課主催「平成29年度地域移行・地域定着支援研修会」

- ◎平成29年12月11日
- 講演・グループワーク：金川広域AD／構築支援事業概要説明：星野密着AD
対象：「公益財団法人積善会曾我病院職員」を中心とした県内保健・医療・福祉関係者68名参加
講師：金川広域AD「これからの地域移行・地域移行支援と地域包括ケアシステム」～今から私たちにできること～（国の動向、施策、県及び圏域における長期入院者状況等といった総論から現場での個別支援を進めるにあたってのポイントや連携等の各論）

モデル圏域における具体的な取組

（協議の場の開催状況）

- 精神保健福祉センター主催の地域移行の取組みを進める県西プロジェクト「県西圏域・地域移行のための医療と福祉の連携会議」の協議の場を活用し、上記の日程で研修会を実施した。
 - 研修会のグループワークによる意見交換では、相互に素朴な疑問の投げかけを通して、個別支援の連携の課題の共有や各機関が強みと感じていること、取組みができてきていることの整理を図った。
- （その他、具体的な取組内容）
- 小田原保健福祉事務所足柄上センター主催の協議の場における地域移行の目標値共有、対象者の支援検討、環境調整、入院患者向けに地域移行を呼びかけるチラシ作成等
 - 足柄下地域自立支援協議会（精神部会）11月開催、次年度本格始動に向け、地域課題の抽出。

モデル圏域における退院支援の状況（※足柄上センター長期入院精神障害者の地域移行の取組みより）

退院支援を実施した者の人数：検討事例実数14例 そのうち、退院した者の人数：5例（H29年11月末現在）※その他、精神保健福祉センター主催／小田原保健所所管域の長期入院者のリスト化実施

平成30年度 取組方針

- 関係者の協議の場については、保健所が有するネットワークや機能、既存の会議等を活用する。
- 構築支援事業や県西プロジェクトによる成果、抽出された課題や提案内容を、協議の場において継続。研修開催等は、その目的や有効性に応じて適宜、圏域単位で実施。